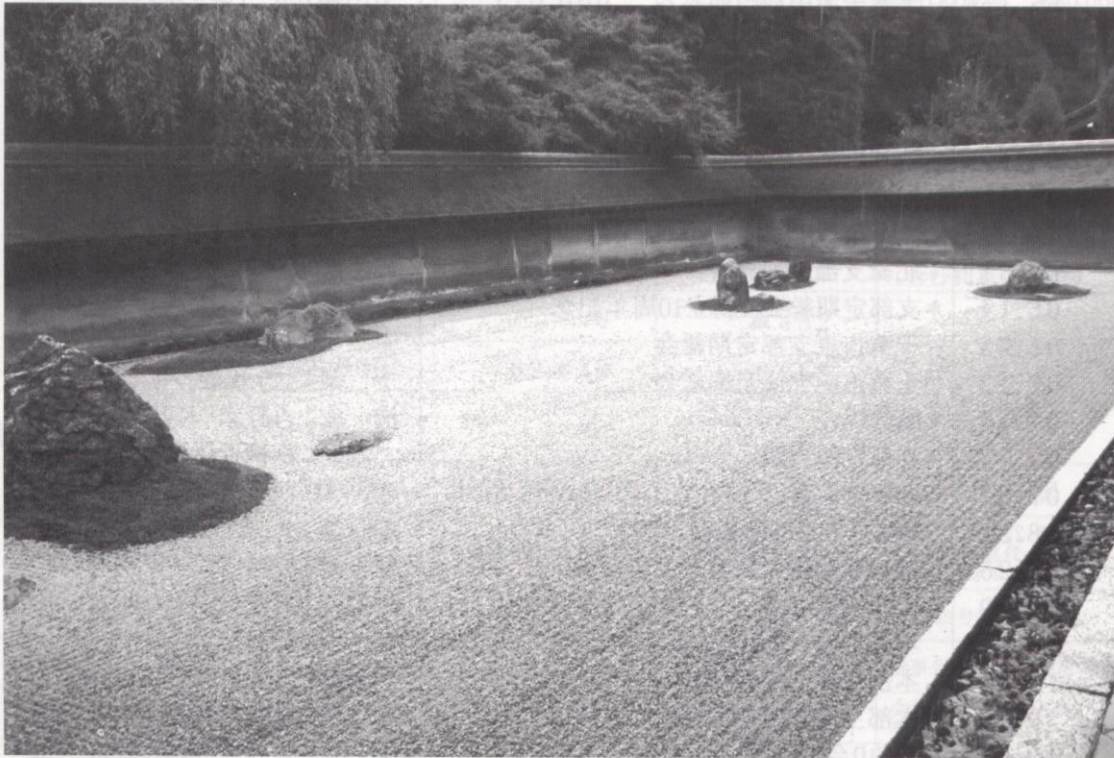


東葛支部会報

第20号

千葉工業同窓会東葛支部

2010年10月1日



第12回東葛支部定期総会開催

表紙写真は京都 竜安寺の有名な石庭の写真です。尚、この写真は34M卒の宗像敬司さんの撮影です。

第12回東葛支部定期総会が、去る6月6日、我孫子市「鈴木屋本店」で開催されました。

当日は天気も快晴、定期総会には県外会員の方も多く参加があり、本部、他支部からのご来賓合わせて、60名の皆様にお集まりいただきました。

議題は、「第1号議案：平成21年度会務報告」「第2号議案：平成21年度決算報告」「会計監査による監査結果報告」「第3号議案：平成22年度会務計画(案)」「第4号議案：平成22年度予算計画(案)」の4議案が提出され、議事の結果いずれも賛成多数で御承認いただきました。

続いて、宮内同窓会会長、天野学校長、段木同窓会顧問、財団法人千工会小池副理事長の皆様から、御祝辞を頂き。その後、恒例の懇親会が行われました。

毎回、利用しています「鈴木屋本店」の和食は出席者から美味しいと評判も良く、畳の部屋での総会は珍しいのではないのでしょうか。

懇親会の様子は写真の報告の様に、ビンゴゲーム大会があったり、当支部の滝口さんによるマジックショーありで大変盛り上がり、最後に恒例の校歌を全員で合唱し別れを惜しみ閉会しました。

■ 第1号議案 平成21年度 会務報告

*：東葛支部

年 月 日	実 施 内 容	実 施 場 所
21.04.05	千葉工業第24回同窓祭	千 葉：母校食堂
04.07	*支部会計監査	柏 　：高柳・かつ美
04.11	本部主催 ハイキング	佐 倉：大佐倉城址
04.12	外房支部定期総会	東 金：八鶴亭
04.18	千葉市西支部定期総会	千 葉：ポートプラザちば
04.22	本部主催 囲碁大会	西千葉：西千葉囲碁センター
05.13	京葉支部定期総会	船 橋：割烹・玉川
05.16	*支部定例会議	柏 　：高柳近隣センター
05.19	千葉市3支部・外房支部共催ゴルフ大会	睦 沢：房総C・大上コース
05.27	市原市支部定期総会	市 原：サンプラザ市原
05.30	千葉市西支部主催 麻雀大会	千 葉：麻雀・大都
05.31	北総支部定期総会	成 田：メルキュールH
06.14	*支部定期総会&創立10周年記念	我孫子：鈴木屋本店
06.21	千葉市東支部定期総会	千 葉：プラザ菜の花
07.12	千葉市中支部定期総会	千 葉：プラザ菜の花
07.15	*鱈釣り	浦 安：吉野家・木更津沖
07.18	*支部定例会議	柏 　：高柳近隣センター
07.31	囲碁交流会	西千葉：西千葉囲碁センター
08.22	千葉市3支部研修会	船 橋：サッポロビール
08.25	第14回麻雀大会実行委員会	西千葉：庄屋
09.19	*支部定例会議	柏 　：高柳近隣センター
10.13	本部主催：第4回親善ゴルフ大会	睦 沢：房総C・大上コース
10.21	本部主催：囲碁大会	西千葉：西千葉囲碁センター
10.24	本部主催：第14回麻雀大会	千 葉：麻雀・大都
10.28	*鱈釣り会	浦 安：吉野家・木更津沖
11.01	千葉市3支部主催 研修会	群 馬：千葉村
11.21	*支部定例会議	柏 　：高柳近隣センター
12.06	本部主催 ハイキング	つくば：筑波山
12.15	同窓祭実行委員会	千 葉：千工会館
22.01.20	*支部定例会議&新年会	湯 島：極・ダイニング
02.19	第25回同窓祭実行委員会	千 葉：千工会館
03.09	南総支部定期総会	木更津：木更津市民会館
03.20	*支部定例会議	柏 　：高柳近隣センター
04.04	第25回同窓祭	千 葉：母校食堂
04.07	*支部会計監査	柏 　：かつ美
04.10	本部主催 ウォーキング	白 井：白井近郊～佐倉
04.11	外房支部定期総会	東 金：八鶴亭
04.24	千葉市西支部定期総会	千 葉：プラザ菜の花
04.25	千葉市3支部 竹の子狩り&バーベキュー	千 葉：誉田・岸本邸

■ 第2号議案 平成21年度 決算報告

● 収入の部

費目	平成21年度予算(A)	平成21年度決算(B)	差額 (B)-(A)	内訳
前年度繰越金	72,548	72,548	0	
年会費	195,000	150,000	▲45,000	会員年会費 50名×¥3,000=¥150,000
本部助成金	105,000	110,000	5,000	助成金 ¥20,000 渉外助成金 ¥80,000 一 律 ¥10,000
本部祝金	—	50,000	50,000	創立10周年記念祝金 同窓会本部 ¥50,000
歴代学校長祝金	—	40,000	40,000	創立10周年記念祝金 歴代学校長 ¥40,000
寄付金	3,000	1,000	▲2,000	新年会余剰金 ¥3,000
総会費(懇親会)	255,000	265,000	10,000	本部・各支部:28名 東葛支部:24名 計:52名
行事費	—	100,480	100,480	創立10周年準備金 (含む利息:¥480)
雑収入	452	0	▲452	
合計	631,000	789,028	158,028	

● 支出の部

費目	平成21年度予算(A)	平成21年度決算(B)	差額 (B)-(A)	内訳
総会費 (含懇親会費)	300,000	426,553	▲126,553	懇親会:飲食代・総会資料・ 案内状・写真代 (落語、タオル、他)
会報発行費	110,000	77,700	32,300	会報19号印刷代
会議費	10,000	21,472	▲11,472	幹事会飲料・会場使用料等
事務通信費	30,000	14,940	15,060	会報送付代、振込料、 事務用品、ハガキ代等
渉外費	110,000	95,000	15,000	他支部定期総会出席 他
行事費	10,000	0	10,000	支部ハイキング補助(中止)
雑費	10,000	0	10,000	総会欠席者返金
交通費	30,000	7,000	23,000	
予備費	21,000	10,000	11,000	故安藤会長御香典
合計	631,000	652,665	▲21,665	

(収入) (支出) (残金)
《決算》 ¥789,028 - 652,665 = 136,363 (平成22年度に繰越)

会計監査結果

平成21年度の会計処理について、各帳簿と証拠書類とを照合監査の結果、いずれも適正に処理されており、決算報告書の通り相違ないことを認めます。

平成22年4月7日

会計監査 櫻井 一三 (印)
会計監査 鎌形 武久 (印)

■ 第3号議案 平成22年度会務計画(案)

1. 平成22年度		
第12回定期総会	<input type="checkbox"/> 開催日時	平成22年6月6日(日)13時～
	<input type="checkbox"/> 開催場所	割烹：鈴木屋本店 我孫子市寿1-10-21
2. 定例役員会の開催	<input type="checkbox"/> 年6回開催(奇数月第3土曜日)	
3. 会報の発行	<input type="checkbox"/> 年2回発行	第19号 平成22年4月(既刊) 第20号 平成22年10月
4. 会員名簿の発行	<input type="checkbox"/> 平成22年11月に改訂版発行	
5. 地区懇談会の実施	<input type="checkbox"/> 地区ごと又は一部合同して地区懇談会を開催し、会員相互の親睦と人間関係が計れるよう企画する	※本年は我孫子、野田、流山地区懇談会を開催
6. 渉外活動の展開	<input type="checkbox"/> 会員の増加と組織の充実を図ると共に、本部への協力、他支部との協力を図る	
	<input type="checkbox"/> 県外会員への加入活動を図り会員増と組織の充実	
	<input type="checkbox"/> 同窓祭(第25回：H22.04.04)への参加	
	<input type="checkbox"/> 他支部定期総会への参加	
	<input type="checkbox"/> 本部レクリエーション委員会開催行事への積極的参加	
7. 会務行事の企画	<input type="checkbox"/> 支部の行事並びに研修会、レクリエーション等の企画	
	<input type="checkbox"/> 会員の親睦旅行、研修会を企画し会員相互の親睦を深める	
	<input type="checkbox"/> レクリエーション(ウォーキング・バーベキュー・釣り等)を企画し、会員相互の体力維持向上に努める	
	<input type="checkbox"/> 本部(レクリエーション委員会)、各支部との連携を深め、同好会への積極的な参加を促進すると共に育成に協力する	
◇より楽しく より有意義な 東葛支部!		

■ 第4号議案 平成22年度予算(案)

● 収入の部

費 用	金 額	内 訳
前年度繰越金	136,363	
年 会 費	180,000	60名(予定)×¥3,000
本部助成金	105,000	渉外助成金 ¥80,000 助成金 ¥25,000
寄 付 金	3,000	
総 会 費 (懇親会)	280,000	本部・各支部(30名)東葛支部 (26名) 計56名出席予定
雑 収 入	637	預金利子等
合 計	705,000	

● 支出の部

費 用	金 額	内 訳
総 会 費	350,000	懇親会費、資料作成
会報発行費	120,000	会報20号、21号印刷代
会 議 費	10,000	定例役員会会場使用料他
事務通信費	35,000	会報送付代、事務用品、切手等
渉 外 費	100,000	他支部定期総会出席費
行 事 費	15,000	ハゼ釣り&バーベキュー大会、 ハイキング等補助費
雑 費	10,000	
予 備 費	35,000	15周年積立金
交 通 費	30,000	県外地区会議出席交通費補助
合 計	705,000	

■ 定例総会終了後、引き続き同会場で開催された親睦会



同窓会 東葛支部 第12回定期総会「我孫子 鈴木屋本店」 2010年6月6日



▲ 懇親会会場



▲ 会員によるマジックショー



▲ ビンゴゲームのーコマ



▲ 景品ゲット



▲来賓の方々会場へ到着



▲宮内同窓会会長の祝辞



▲天野学校長の祝辞



▲段木同窓会顧問の祝辞



▲小池千工会副理事長の祝辞



▲早尾北総支部長の挨拶



▲吉田千葉市東支部長の挨拶



▲住田外房支部長の挨拶



▲大野市原支部長の挨拶



▲東葛支部有志による二次会



故郷「印旛沼」の同窓会ハイキングに参加して

東葛支部顧問
26C 立崎 作次

去る4月10日(土)第17回同窓会ハイキング同好会が、私の故郷、印旛沼の湖岸を中心とするコースで開催されました。

幸い、好天に恵まれ、30名の仲間が参加され東葛支部からは、木間さん、土屋さん、山田さんと小生の4名が参加しました。午前9時に京成臼井駅北口に集合し、役員の腕木さん(38E)、木間さん(33C)からコースの説明や若干の注意事項があり、9時10分頃、臼井城公園を目指してスタートしました。地形の変化もあり、少し歩き過ぎてバックなどして歩いて居たら地元の老人が、この道は昔は参勤交代に使われていた成田街道であると教えてくれ、その老人に教えてもらった道を歩いて行くとすぐに臼井城跡公園に出ました。公園から望む印旛沼の景色に見とれ、少休止後、現在の成田街道に出てから、印旛沼の岸辺に構築された遊歩道とサイクリング道に入り、私が小学校の頃と比べると、印旛沼は成田街道から遥かに遠くになり驚きました。昭和20年に千葉工業に入学した頃の印旛沼は現在よりも面積が大きく神秘的で、1年先輩の横山さんは、今居る場所の向かい側の師戸(現在印西市)に住んでいて、当時、学校から遅く帰ると船頭が居らず、自分で笹舟を漕いで帰る時代でした。

ある日学校の帰りに、彼の家へ寄る機会があった折、遅くなったので船頭は居らず、彼の漕ぐ笹舟に乗せてもらい、並四ラジオや5球スーパーを、彼の家で作った時代を懐かしく思いだし、時代の流れを感じ先輩の安否が気になりました。

岸辺は春たけなわ、桜の花は満開、野生のイタドリ(地方によりスカンボ等異なる)が新芽を出

して花の摘み取りし、差し入れて頂いた飲み物を、摘まみにして70年ほど前にタイムスリップした気分になり、昔は、印旛沼と田んぼで在った所に、チューリップ公園やオランダ風車等が在り、入り口には天幕の出店が立ち並び、種々の土産物、食べ物、玩具等々のマーケットになっていたのにはビックリしました。この場所で参加者全員にて記念写真を撮り、休憩時間と成り、東葛支部4人で記念写真を撮りました。

その後、成田街道沿いの昼食を予約して在る鹿島園に向かい、前持って注文しておいたメニューを食べながら、アルコール類も入り、和やかな楽しい一時となりました。

昼食終了後、かなりの距離をハイクしましたが、鋭気を養い最後の目的地、国立博物館に向かいました。

この博物館は、徳川幕府の譜代大名・堀田城主の跡地で、戦前は佐倉57歩兵連隊が使用して70年以上前になりますが、毎年開催される、連隊開き招魂際に祖母に連れてきてもらった幼少時代を懐かしく思い出しました。



地域住民となって

文責 M34 土屋 孝夫

私が現在の地(川崎市高津区溝口)に居住したのは昭和50年の中ごろであった。

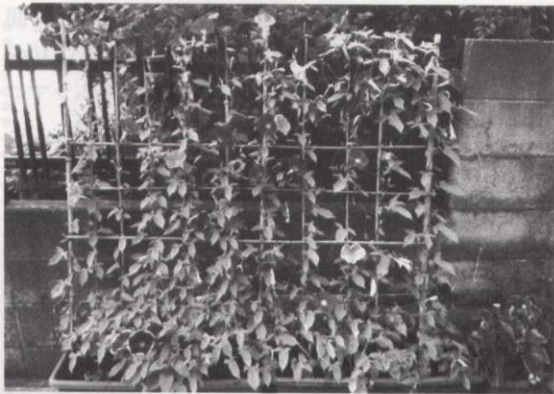
その後サラリーマン社会を卒業し35年間住んでいることになる。振り返ると長く住んでいるだけで、住民との触れ合いはほとんどなく、向こう三軒両隣と言われるくらいの付き合いであった。

第二の人生は自分で行動しなければ何も起こらない。趣味を通しての活動を行うような趣味も持っていない。限られた仲間とゴルフや旅行、また千葉工業同窓会

の行事等に参加して過ごす生活が続いていた。

そんな日々を過ごす中で3年前に町会の役員の人から、暇なときに小学校児童下校時のパトロールの手伝いを頼まれた。参加して徐々に町会の人たちと懇意になり、毎月1度行われる町内の清掃や年末夜のパトロール、月初めの幹事会に参加するようになって、やっと町内の様子が少しずつ分かり始めてきた。

2010年4月の総会において役員の一人に推薦され、その責任が一段と高まってきた。



小学校児童のパトロールでは、学校で育てたと思われる朝顔の種の紙包みを1年生からプレゼントされた。包の表面にはたどたどしい文字でパトロールさんへと書かれていた。感激でおもわず胸がいっぱいになり、翌年には見事な花を咲かせて児童たちに見せようと思ったが、何時種をまいたら良いのかわからない。いろいろと朝顔について調べ、何とか花を咲かせることができた時は我ながら感激した。今年はさらに花の数も多くなり立派に二代目の花を咲かせることが出来た。

朝顔の花はか弱く、雨や強風を受けると直ぐに萎れてしまうが、つるは細いが強くて丈夫、手でちぎろうと思うが簡単にはちぎれない。

当時の1年生児童も早3年生となり1年生の時の

か弱さが影をひそめ、朝顔のつるのようにたくましく育っている。その姿を見ると子供たちの成長の速さに驚きを感じる。

新1年生が入学する時期になると、学校の全校朝礼にパトロール隊も加わり顔合わせをする行事が行われる。

年末近くには学校の朝礼で感謝の会が行われ、パトロール隊の人たちに1年生が紙で作成した金メダルを首にかけてくれ1年間のお礼の行事が行われる。こんなことも地域の人々との交流の一環となって、本当の地域住民の一員となったとの思いが強く感じる昨今である。



高齢化社会に足を踏み入れ始めたこの時期に周囲の人たちとの結びつきができるようになったことに喜びを覚える。

世の中高齢者の独り暮らしが問題となってきた時代、人は一人では生きていけない。また周囲の人たちの輪に参入するきっかけをつかむのが難しいが、ひよとしたことで町内会の一員として参入できたことの喜びを、これからも大切に行動していきたいと思う。

「私の家庭菜園」(腐葉土の作り方)

第一回目を鈴木和美先生(第12代校長)に原稿を頂き、第2回目は私の畑作は土作りからお届けしましたが、今回第3回目は、(腐葉土の作り方)をお届けいたします。

前回(会報第16号)では、腐葉土を作る、落ち葉集めの方法、集める時期などをお知らせしましたが、今回は、集めた落ち葉をどの様に発酵させ腐葉土にするのか、私の作り方お教えします。

まず、腐葉土作りに必要な物、落ち葉(クヌギ、さくら、ケヤキ)、水、油カス、米ぬか、まず、集めた落ち葉に水をかけ、写真の様な枠を作り、その枠の中に20cmぐらに積み込み、足で踏み込み、枠いっぱい(20cm)積み込む、その上に糠を全体が白くなるまでまぶす、その上に、水分を含んだ落ち葉を又20cmぐらに積み込み、足で踏み固める、踏み固めたら今度は、油カスを、糠の時と同じ様に踏み固めた上に、まぶす。これを何回と繰り返し、写真の落ち葉の枠に高く積み込む(私



の胸の高さくらいまで)、積み込むのに一日費やします。

積み込み終了後、2~3日すると、落ち葉を積み込んだ内部から発酵が始まり1週間もすると、積み込んだ落ち葉全体が発酵し、落ち葉の中に手を入れると非常に暖かく寒い日でも、本当に暖房の変わりに成る位です、(この積み込み作業は12月中頃~12月下旬に行います)積み込みから一ヶ月ぐらいで、一回目の

切り開始を行う、この頃、落ち葉をひっくり返すと、外は寒く、腐葉土から白い物が立ちこめて、発酵しているなど実感します、切り替えししながら、もう一度、糠を入れていきます、これを2回ほど行い、一年かけて畑に優しい腐葉土が出来まして、一年後の畑に鋤きこんで腐葉土として使います。

でも、この腐葉土の中で一年かけて大変な事がおきているのです、毎年の事で驚きませんが、腐葉土を使用する段階になって腐葉土を掘り返すと、なんとカブトムシの幼虫が、沢山いて腐葉土を使う時にカブ

ムシの赤ちゃんの引越しが始まります、今子供達の間では、カブトムシを飼育が流行しているとか、実は私の住んでいるマンションの隣の高校生がカブトムシマニアでして、毎年、箱に入れて成虫にしていると。

カブトムシの話はこれくらいにして、畑作に戻りますが実際にこの腐葉土を畑に鋤きこんで、いろいろな作物を作ると、はっきり腐葉土、有り難さが分かります。出来た作物の出来が一目見ただけで分かります。今回の腐葉土の作り方はこれ位にして、次回は美味しい小松菜の作り方を御報告します。

東葛雑学、遊学散歩

◆ 平 将門 (その4)

室町時代の将門伝説と将門像

室町時代の将門伝説の中で、14世紀、南北朝動乱の中で作られた「太平記」があります。

太平記の中で、従来の調伏伝説の他に、将門の首をめぐる説話や、将門の鉄身説話が、新しく付け加えられています。

太平記の記事が将門の首をめぐる説話としては最も古いものである。

将門の鉄身説話は、彼の身体が皆鉄で出来ていて、不死身を強調したものとなっている。

これは、将門の巨人化、あるいは英雄視化としての説話であるが、この話はすでに、鎌倉時代の説話が誇張されたのでしょう。

南北朝以降、都の貴族によって、将門に投影された強く猛々しいイメージが肥大化し、不死身の将門、あるいは首を求めてわめく、首の説話となったものでしょう。

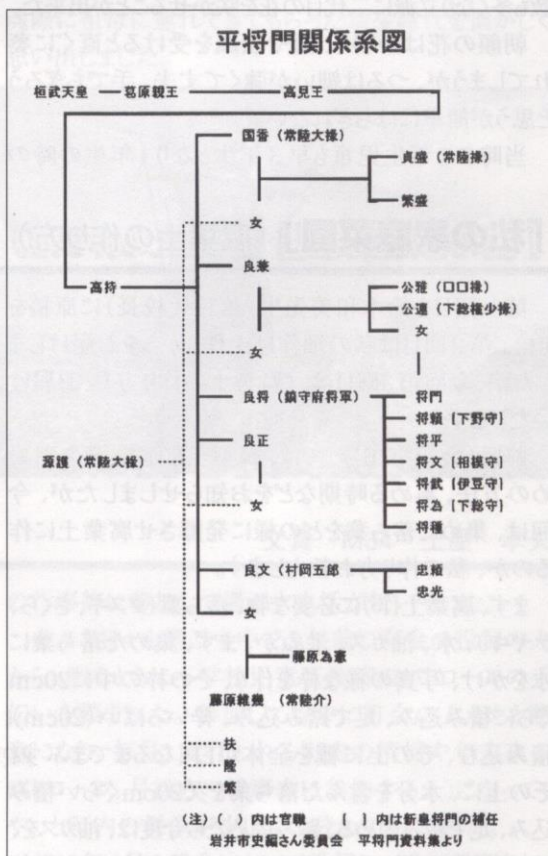
また「倭藤太物語」の中では、将門は主人公でなく、敵役として登場する。

将門は、一ヶ所に肉身を残す不死身の鉄身であり、七人の分身をもつ存在として描かれている。この七人の分身は北斗七星を祭る妙見信仰との関わりから作られたのでしょう。

この章の終わりに、将門伝説は時代が下がるに従って多様化していき、それと同時に将門伝説は実体とかけはなれていく。

実体とかけ離れた将門伝説は、絵空ごととして無視する事はたやすいが、将門は伝説において永遠の命を与えられ、人々の心に生きつづけていったのです。

人々にとって実体はどうであれ、伝説の中の将門こそが、真の将門であり、将門伝説は、伝説を受け継いでいった人々のメンタリティーであり、今も多くの人を引き付けて放さない将門の魅力なのかも知れません。



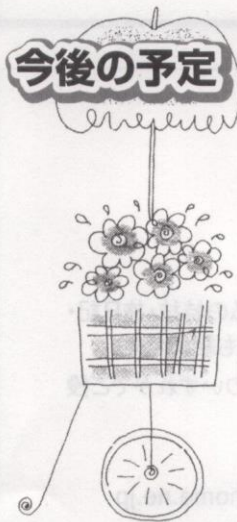
● 参考文献 福田豊彦「将門伝説の形成」

● 皆様の趣味や得意とするものをご連絡下さい ●

会員の皆様は、色々な趣味をお持ちだと思いますが、比較的ポピュラーと思われるものについて、役員の中かで一応の担当者を決めてあります。会員の皆様のご趣味・得

意な分野・特技などを把握し、色々な行事や交流にお誘いしたいと考えています。趣味や得意な分野が一致した方は、それぞれの担当者までご連絡下さい。

- ゴルフ 櫻井 一三 〒279-0022 浦安市今川4-8-7 TEL.047-352-5569
- ハイキング 釣り 木間 英一 〒270-0002 松戸市平賀125-10 TEL.047-343-0455
- 囲碁・麻雀 高橋 健一 〒270-0157 流山市平和台5-400 TEL.04-7159-9367
- スーパー 紙とんぼ 鎌形 武久 〒270-2241 松戸市松戸新田21-3 TEL.047-364-5084
- 茶道 富田 博 〒272-0015 市川市鬼高3-12-39-516 TEL.047-393-0850



東葛支部の予定

- 平成22年
- 9月18日(土) 定例会議：高柳近隣センター
 - 10月27日(水) 釣友会(鯨) 妙典：伊藤遊船
 - 11月10日(水) バーベキュー 江戸川河川敷
 - 11月20日(土) 定例会議：高柳近隣センター

本部・他支部の予定

- 平成22年
- 8月21日(土) 千葉市3支部主催 サッポロビール千葉工場見学会
 - 10月19日(火) 本部主催 チャリティゴルフ大会 真名カントリークラブ
 - 10月23日(土) 本部主催 第15回麻雀大会 千葉市：麻雀大都
 - 12月4日(火) 本部主催 ハイキング 箱根駒ヶ岳

編 集 後 記

支部会報第20号をおとどけします。

今年の猛暑いかが御過ごし立ったでしょうか、これも地球温暖化の影響でしょうか、皆さん、一人一人が地球に優しい生活をおねがいします。

さて、今回の支部会報は平成11年に支部が創立されてから、会報発行回数も20回目になりました。

今回も定期総会報告並びに、会員皆さんの原稿を載せて、お届けします。原稿の中に、定年を迎え会社人間だけではなく、あらたな生き方を発見された報告が在りましたが、私も、昨年8月に定年を迎え、定年前から同窓会に入会して、支部の皆さ

んから定年後の話しをお伺いして、定年を迷いなく迎えられました。今後、卒業生の後輩の方々も、定年を迎え、いろいろ迷う事が有ると思いますが、心配する事無く、同窓会の先輩方の経験話を参考に楽しい定年後をすごしたら最高。

第20号の表紙の写真は、大阪市にお住いの昭和34M卒の、宗像敬司さんから頂きました。宗像敬司さんは、写真が趣味で今回、京都、奈良方面の写真を沢山いただきました。もし、今後出来ましたら、支部定例会を京都で行う企画はいかがででしょうか。

富田 博

新入会員募集と入会手続きについて

東葛支部では、会員を増やしてどんどん組織を大きくしていきたいと思っています。このため、役員の中に「会員増促進委員会」を作って活動しています。

会員の皆様の仲間で、会員資格のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めて下さい。

- 1. 入会資格** 千葉工業学校、千葉工業高校、および同校併設中学校の卒業生、ならびにかつて同校に在勤、在学していた方で支部長が認めた方。
東葛地域に居住している方及び千葉県外に居住している方、または出身が同地域の方、同地域に勤務されている方。
- 2. 会費** 年会費 3,000円
- 3. 入会手続** 役員へ入会申込みされますと郵便振替用紙をお送りしますから、年会費3,000円を振込願います。

支部会報第21号の原稿募集

東葛支部会報第21号の原稿を募集します。

- 1. 発行予定** 平成23年4月
- 2. 原稿締切** 平成23年3月
- 3. 内 容** 母校の思い出・恩師の思い出・私の職場・私の仕事・私の趣味・私の特技・旅日記・近況・クラス会模様・エッセイ・呼びかけ・イベント報告 等、何でも結構です。
- 4. 投稿方法** 卒年科・ご氏名を記入の上、郵便・FAX(自動受信)・E-mailのいずれかでご投稿下さい。
- 5. 投稿先**
編集委員長 坂巻 実 〒277-0921 柏市大津が丘2-4-1
TEL:04-7191-5927 E-mail:minoru.sakamaki@jcom.home.ne.jp
編集委員 土屋孝夫 〒213-0001 川崎市高津区溝口3-18-17
TEL:044-844-2767 E-mail:golf-t@tbn.t-com.ne.jp
編集委員 富田 博 〒272-0015 市川市鬼高3-12-39-516
TEL:047-393-0850 E-mail:c-tomi@rr.em-net.ne.jp

東葛支部会報

第20号

発 行	平成22年10月1日
発 行 者	千葉工業同窓会 東葛支部
発行責任者	支 部 長 吉田勝彦
事 務 局	事務局長 木間英一
編集責任者	編集委員長 坂巻 実